

苗名小屋整備

(2005年10月29～30日)

2005年10月31日

14期 小口

参加者

(OB) 14期鈴木くん、小口、30期笹倉さん、34期親跡さん、39期後藤さんの5名
(現役) 塩野さん、肥塚さん、井上さん、島田さん、西元さん、白鳥さん、佐竹さんの7名

作業内容

10月29日

トイレのきじ汲み。ひしゃくで汲み取り穴に埋めた。量は多くなかった。

現役の皆さんの頑張りで無事終了

小屋周りの溝堀り

10月30日

雪囲いの整備。笹倉さんと鈴木くんが主になって作業

なお、29日作業終了後、有志で仙人池散策。30日現役有志火打へ。

作業終了後OB、現役(火打以外)笹ヶ峰ダムから夢見平遊歩道の散策



秋の苗名小屋



切土工一式(小屋裏庭にて)



トイレ修理後初のキジ汲み



朝の裏庭



小屋の雪囲い雨戸側



左より 47 期井上、48 期島田



画像に処理は加えておりません

(人物は 49 期白鳥君)

火打PW

2005 年 11 月 1 日 46 期 塩野

火打山登山隊は無事全員登頂し、笹ヶ峰に戻ってきたところ、鈴木さんが待っていてくれ、苗名の湯経由で駅まで送ってくださいました。本当にありがとうございました。簡単に行動概要を記しておきます。

笹ヶ峰発 7:24、黒沢橋着 7:55 とコースタイムの半分で歩く。

佐竹さんのコメント「ジョギングみたいですね」。

黒沢から先は紅葉の終わったブナ林を抜け、オオシラビソの林をとおり、富士見平に至る。展望なし。うっすらと雪が残っていた。

冬枯れの高谷池着 10:15。

小屋の中で昼食、100円。小屋内でも気温4度であった。白鳥さんはしばし寝る。

池から山頂までは霧氷がとても綺麗で桜が咲いているよう。
雪は5cm弱。時より晴れ間も見えたが山頂は視界ゼロ。
しかし冬毛の雷鳥四羽と出会うことができた。しかも飛んでいた。
山頂着 12:00、15分の休憩の後下る。

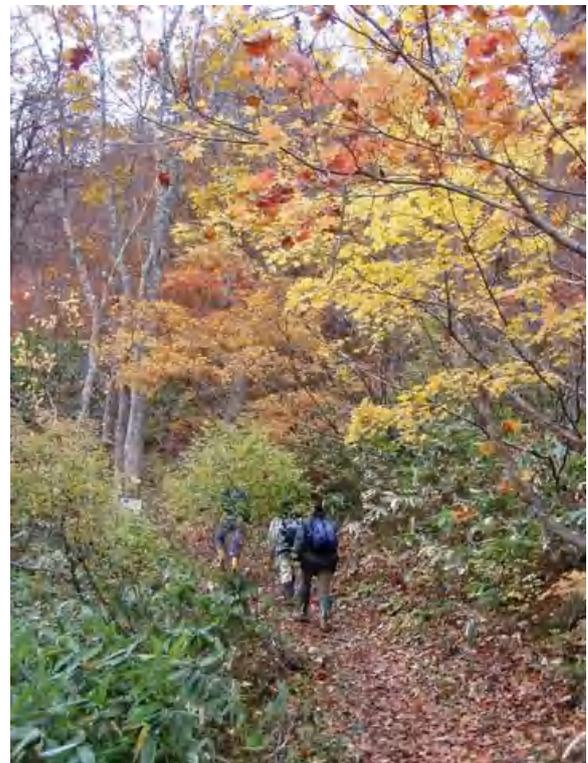
火打は三度目だが一度も展望が利いたことがない。
氷点下の寒さゆえ、皆の髪の毛が凍りつく。しかし風はなく静かだった。
下りは15:30のバスに間に合わせるため急いで下る。
富士見平 13:40-50、黒沢 14:40-50、笹ヶ峰 15:10 というペース。

笹ヶ峰より思いがけず、鈴木さんに駅まで送っていただく。
帰りの高速バスではお決まり？の酒盛りをしながら寝ることなく新宿着 22:20。
この後、S,Sコンビは横浜に帰ってからM君、N君を招いて宴会をしたらしい。

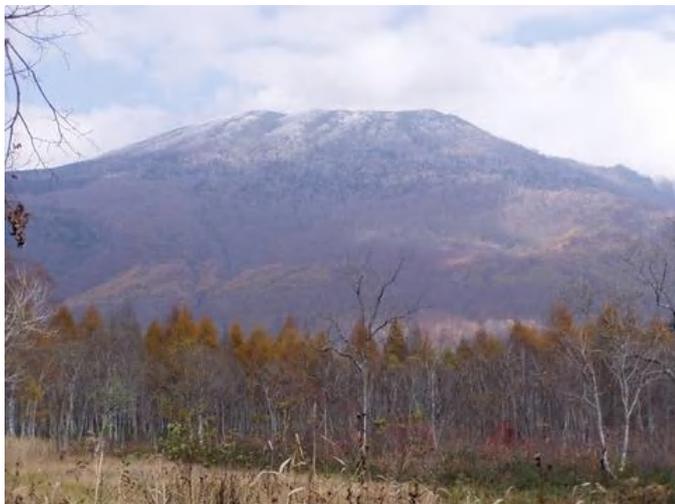
その体力に脱帽。皆様おつかれさまでした。



火打PWメンバー(30.10.2005;左から47期肥塚さん、塩野君、49期佐竹君、白鳥君)



紅葉の夢見平遊歩道



ショウブ池と三田原山冠雪